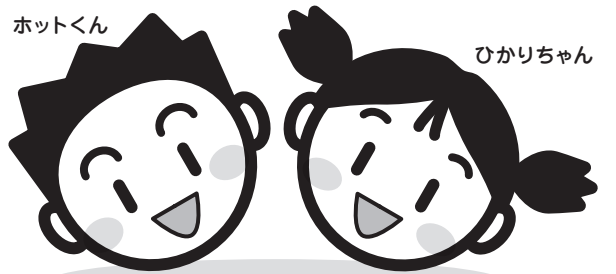


山陰教区

キッズサンガ通信

ホットくん



ひかりちゃん

Sanin Kyoku Kids Sangha

Vol.9

2020.12.20

発行:山陰教区教務所 〒690-0002 松江市大正町443-1 TEL(0852)21-4747 FAX(0852)27-8351 発行者:佐々木了慎 企画・編集:山陰教区 子ども・若者ご縁づくり推進委員会

2019(令和元)年度子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)実施報告 ※抜粋

昨年度の組やご寺院での子ども・若者ご縁づくりの実施状況について、組長様をはじめ、組サポーターの皆様、ご寺院の皆様にご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。 ※重複する内容はまとめて掲載しております。また、一部文言を変えた箇所もありますので、ご了承ください。

子どもへの取り組み ~キッズサンガをさらに

組で

- 《日常生活でのご縁づくり》
・食事のこぼしの励行・ポストカードやリーフレットの配布。(4件)
《平素の法務、法要、行事でのご縁づくり》
・組主催の「子ども報恩講」を実施。本年で10回目。小学生を中心に毎年50人前後の参加。父兄・スタッフ合わせ約100人でお参り。
・「子ども花まつり」を実施した。お勤めと法話の後、子どもたちと一緒に白象を引いて街を練り歩いた。戻ってからゲームをし、お菓子や甘茶をいただいた。
《子どもに特化した集いでのご縁づくり》
・組内寺院が開催する「子ども寺子屋」に対し、組として助成と協力。
・サマースクール(4組)
○組サマースクールで世界遺産めぐりを実施。(1組)
○「ほとけの子のつどい」の開催。(2組)
○町内合同サマースクール開催。(1組)
・組で児童念仏奉仕団を実施。(3組)
・組行事としては行っていないが、各寺、単独、2ヶ寺合同などで活動。

寺院で

- 《日常生活でのご縁づくり》
文書・掲示伝道
・食事のこぼしの励行・ポストカードやリーフレットの配布。(6件)
・各通信物において日常生活における仏事のパンフレットの配布。
・『大乗』連載中の「いのちのえほん」を拡大コピーし、子どもでも読めるよう掲示板に掲示。
・伝道掲示板で法語などの紹介と普及。
ご家族・子どもたちへの呼びかけ
・「法座に親子で参拝」ポスター配布。
・「家族そろって参拝しよう」のポスターを配布。
・家族全員での「浄土真宗の救いのよこび」唱和を呼びかけ。
・境内に遊びにきている親子などへ声かけ。
・幼稚園・保育園を運営。園児たちの登園・降園時にご本尊にあいさつ。
お祝い・贈り物
・日校グッズの配布。(3件)
・ご縁ある子どもたちに念珠を贈る。
・新年のお年玉(菓子と小物)にメッセージを添える。
・入学祝、卒業祝を渡す。
《平素の法務、法要、行事でのご縁づくり》
法務
・子どもに分かりやすい勤行や法話。(8件)
・法事にお参りしている子どもたちに「ありがとう」とお礼を言う。(2件)
・法事にお参りした時、仏教マンガをプレゼント。
・幼児～中学生ぐらいの年齢の子どもがお参りした時に、「ブツがせんせい」の本を手渡し。その本を元にした法話を行う。
・本堂で法事をお勤めするときなど、初めてお参りする子ども(未就学児)に念珠や合掌人形などを渡している。
・法事で「しおり」を子どもに配布。
・仏事のとき、子どもと一緒に勤めする。
・法事で子どもとの関わりを意識して、行事の参加を促している。
・子どもが多い家庭での法事では、法話の導入に絵本を使っている。
・法事参り、墓参りなどで、子どもとの出合いを大切に声かけに努める。
・勤行で子どもに鑿を叩いてもらう。
・法務で「浄土真宗の救いのよこび」を口述している。
・ご家庭にお参りしたときに、日校グッズを配布する。

- ・各家庭での法要などでは、参拝者(子どもから高齢者)全員で、合掌・称名・礼拝、真宗宗歌・しんらんさまなど唱和。全員読経・内容の解説・法話・焼香などをして、疑問、質問に答えながら教化を実践している。
・普段のお参りで、子どもと一緒に勤めするようにしている。
法要・行事全般の取り組み
・法座のお齋で、食事のこぼしを励行。
・法要行事で、「浄土真宗の救いのよこび」を口述している。
・法要時、プリント配布する。
春彼岸
・春彼岸法要で、中学校卒業生2人の卒業報告。
花まつり(19件)※地域仏教会・町内行事の花まつりへの参加(6件)
・毎年4月小学校に入学する児童や地域の子どもを対象にしている。(2件)
・行進、法話。
・仏教讃歌・文部省歌(歌唱指導)・ゲーム。
・山門前に花御堂を設置し、子どもたちが自由に灌仏できるようにしている。
・PTA総会の振替休日に花まつり子ども会。お勤め、法話、DVD、勉強、屋外に自由行動。
降誕会(4件)
・子ども降誕会(2件)
・5月の降誕会と年末年始は特に子どもに誘いをかけ、古来よりは少し派手に催しを行っている。余っているお菓子などを集め、さりげなく子どもに配っている。
・絵本などを記念品として授与。
・降誕会法要に初参式や日校を開催。
・降誕会に初参式を開催し、記念品やお赤飯を渡している。
初参式(20件)※降誕会法要と併修(6件)
・念珠や式章をプレゼントしている(使い方を法事などで指導)。
・小学校の新一年生お祝い会を一緒に行う。
報恩講(5件)
・若者や子どもたちも参拝しやすいよう、報恩講を土日あるいは夜に設定(2件)。
・報恩講法要への参拝奨励。
・報恩講のお齋の手伝いを依頼。
・若者や子どものいる家への家庭報恩講は土日にお勤めする。
・報恩講のお齋を、子ども向けに「お寺ごはん」と名付けてご縁づくりを行った。
「子ども報恩講」(6件)※うち、組主催が2件
・12月に「子ども報恩講」を開催。高膳、漆器でお勤め・法話・精進のお齋をいただく。いずれも仏婦のお手伝いをいただく。食後に必ず仏婦の皆さんにお礼を言う。帰りには、お仏壇にお供えをしてからいただくようにシールを貼ったお下がりや子どもたちへ渡す。
除夜会・除夜の鐘(6件)
・年末の年越し行事に少年参加ブースを作り、運営をお願いする。
・除夜の鐘つきでは、門徒以外の子どもの参加もある。
・子どもたちにおやつなどを配布。
・除夜会で、子どもたちに特別のお下がりを準備。
・除夜会でぜんざい作り。また、今年は竹とうろろを作ってもらった。
季節行事
・12月～1月 もちつき大会(2件)
・1月、すころく大会
・3月、桜まつり
・4月、お花見会
・4月、就学児童お祝いの会や仏参会を開催(2件)
・4月、たけのご振り(2件)
・6月、ちまき作り
・夏(7月・8月)、お寺に親しんでもらうため、近隣の子どもたちと流しそうめん

- ・夏(7月・8月)、流しそうめんと映画鑑賞
・9月、芋掘り・焼き芋
・7月と2月、子どもたちによる本堂掃除
・9月、お月見会
・10月の門徒総参拝で、綿菓子、輪っか、スーパースクールなど
・11月、他のお寺へお参り
その他の法要・行事
・慶讃法要の稚児参列者に日校グッズを配布した。
・地域仏教会の成道会で、子どもたちに簡単な仏教の話をし、ゲームなどのお楽しみ会を行った。
《子どもに特化した集いでのご縁づくり》
児童念仏奉仕団(4件)
サマースクール・夏休み子どもの集い(14件)
・サマースクールでお勤め。食前・食後のことば、朝夕の仏前へのお参りの大切さを話す。
・8月、夏期子ども会～境内地や駐車場を開放。駄菓子などを手渡し。
・8月、夏休み子ども会～お勤め・法話・宿題・プール。
・隣寺で毎年開催されるサマースクールに参加。
・小中学生合同のサマースクールを仏婦主催で開催。午後から開始。夕食にカレーを食べ、夜の集いを行った。
・毎年、7月下旬に1回「夏休みお寺の子ども会」を実施。
・1泊2日の「お寺で合宿」
・隣の地区のお寺と合同でサマースクールを開催。
・8月、2ヶ寺合同での子どもの行事を開催。
・8月、門推・仏仕役員・仏婦役員・子どもとその家族を中心に、本堂でのお参りと法話・ゲーム・境内での流しそうめん。
子ども会・寺子屋(7件)
・年に1回、人形劇を3団体招いて、「寺子屋人形劇場」を開催。会場は門徒会館、庫裡、本堂の3カ所、見る人が移動する方式。開催前に住職が法話。
・仏婦による半日子ども会を開催(年1回)。
・2ヶ月に1回程度、子ども会を開催。
・毎月1回、子ども会を開催(クレープ作り・たこ焼き大会などを実施)。
・組での子ども会活動に参加。
・子ども会を年3回開催。参加費はお費100円。お仏飯1合を持参してもらう。
・組内寺院で、年1回、子どもの集いを開催している。
日曜学校
・毎週、日曜学校を開催。
集い・催し
・例年、「紙芝居とぜんざいの会」を開催。地元の小中学生や幼稚園児の参加が少なく、地区以外からの子どもが参加した。2019年は、乳幼児と引率して来場された若い父母、あるいはそのご両親、そして、お祖母さんの参加が多かった。結果として若い世代の父母への布教の場となったことも有意義であった。
・公民館行事への協力(3件)
○本堂での宿泊受け入れ。
○公民館の夏休み行事で参拝を受け入れ、法話。
○本堂で一泊。夜は仏教についての話。

若者への取り組み①

～キッズサンガの展開形として

組で

- ・組内寺院が開催する「若者寺子屋」に対し、組として助成と協力。
・組仏婦連盟の行事の一環として「茶道を通して仏教のこころを味わう」と題し、「若女性つどい」を催した。
・各寺院試行しながら実施。カード配布から花見法話会など。
・組行事としては行っていない。各寺、単

- 独、二ヶ寺合同などで活動。
・教区行事へ参加。

寺院で

- 《日常生活でのご縁づくり》
文書・掲示伝道
・食事のこぼしの励行、ポストカードやリーフレットの配布。(3件)
・掲示伝道。(2件)
若者・ご家族への呼びかけ・情報発信
・若者同士で気軽に話せる場をつくる。
・若者との会話を大切に。
・ツイッター、フェイスブックなどSNSで情報を発信した。
・都会へ出て行った若者に、家の方々に便りを強化してもらうよう勤めている。
・コロナの間は寺院から寺報の拡充版を出した。なかなか若い方が多人数にはならないが、仏仕行事とからめ、飲み会やBBQをお寺でしている。
お祝い・贈り物
・結婚時に夫婦念珠と結婚記念冊子を進呈。
・新婚夫婦にペア念珠・式章を贈呈。
・成人式に「歎異抄」を贈呈。
・門徒必携・経本2冊・大乗半年分を贈呈。
地域活動
・消防団・観光協会などへ所属。
《平素の法務、法要、行事でのご縁づくり》
法務
・「浄土真宗の救いのよこび」を口述。
・日常のお参りで若い方からの意見を聞きながら法話につなげている。
・普段のお参りで若者も一緒に勤めするように。
・仏さまに手を合わせる大切さを話す。
・通夜で、若者に合った話をする。(2件)
・葬儀の後、墓参りに若い人がおられたら、内陣の説明などを通して、浄土真宗の教への伝承するようにしている。
・葬儀のあったご家庭には「仏事のイロハ」を贈呈している。
・仏事の際、お焼香の作法を伝える。
・法事のときより、お葬式で会った方に、なるべくお声がけするように掛けている。
・日常のお参りで、若い方からの意見を聞きながら、法話につなげている。
法要・行事全般の取り組み
・永代経、報恩講、盂蘭盆会における境内清掃を通してのご縁づくり。
・法座では、夜座を年2回入れお勤めし、若者への参拝をよびかけている。
・仏具みがき
・法座へのお誘い。
・「法座に親子(三世代)で参拝」ポスターを配布。
・法座のパンフレットを作成し、法座の内容をわかりやすくする。
・仏婦などへの働きかけ。
盆参り
・自宅での盆参りで、仏前に同席してもらう。
報恩講
・報恩講の「お寺ごはん」には、子どもと一緒に若い保護者にも呼びかけ、お寺とのご縁づくりとした。
・報恩講法要への参拝奨励(寺報、直接的な声かけ)。
・若者や子どもがお参りしやすい休日に家庭報恩講。
・家族そろって報恩講をお勤めする。
除夜会・除夜の鐘(7件)
・除夜会での活動にスタッフとして協力依頼する。(2件)
・除夜の鐘つきに、多くの若者のお参りがある。(2件)
・除夜会にお齋を食べながら、近況などを聞き、一緒に語らう。
季節行事
・花まつり(2件)

- ・お寺の境内で盆踊りを開催。盆休みに各方面から帰省された多くの方で盛り上がった。
・盆踊り大会のスタッフを依頼。(2件)
・サマースクールの手伝い・協力を依頼。(7件)
その他の法要・行事
・初参式を開催。若い夫婦がお寺にお参りする機会になっている。
・初参式・卒業報告時、ご両親にも参加してもらい、お聴聞をすすめている。(2件)
・仏前結婚式
《子どもに特化した集いでのご縁づくり》
・清掃奉仕など法座以外のご縁づくり
・月1回の仏青例会
・年1回、お寺の境内を開放し、仏青主催の花見&バーベキュー
・成人式
・中学生卒業生を送る会(仏婦主催)
・夏・秋2回、境内地で食事も
・中高生の忘年会
・寺のゴルフコンペ
・地域のドラゴンカヌー大会に青年会とともに近所の中高生が参加。終了後、寺で懇親会を行った。
・地域の行事と共同でお寺でのコンサートを開催した。また、本堂で「よさこい」のチームを呼んで踊ってもらった。
・「寺婚」を開催。1組のカップルが誕生した。

若者への取り組み②

～ご縁のなかった若者への取り組み(ご縁のない若者層や生きづらさを抱えている方への取り組み)

組で

- ・組内各寺院で実施。
・組で検討中。
・ホームページでの取り組み。

寺院で

- 文書・掲示伝道
・寺報に「若者向け掲示板」を掲載。
・「仏教だより」を発行。仏婦会員以外の若い方にも配布した。
・寺報の配布。
呼びかけ・情報発信
・なんとなく境内に訪れていると思える若者への声かけなど。
・LINE公式アカウントを作成し、様々な世代の門信徒が気軽に連絡できる相談窓口を作成した。
・遠方へ出て行く若い方々へ、小型のご本尊や本山の「いちょう」などをすすめている。
法務・法要
・家庭報恩講など、暮らしの中のピハラ活動。
・お晨朝(おあさじ)朝食会。地域の人や若者など案内し、お勤めの後、みんなで朝食をいただく。
・葬儀・通夜の法話で、仏縁の大切さを話す(ご門徒ではなく、お参りの方々に対して)。
地域活動
・お寺単独では不可能。地域と協力して若い人と関わりを持つ。
・小中学校運営協議会の会長として取り組んでいる。
・地元高校JRC部によるお寺の清掃訪問(仏具みがきなど4名、教員1名)、その後、お話し合い。
・活弁の会にお寺を開放(地域住民70数名参加。うち子ども10名余り参加)。
・ヨガのレッスンを通し、若者の寺に対する敷居を下げる活動。
・音楽のライブを2回開催。初めてお寺に来た方もいた。
・年1回、「お寺体験&コンサート」をコンセプトに、お寺でのイベントを開催。



自由回答

組の回答

・(良い点)就学児お祝いの「仏参会」では、今まで仏さまにお参りする機会がなかった子どもへのご縁づくりとなった。また、子どもを通して保護者の方のお参りのご縁にもなった。

ル」「児念」などのスポット的な行事への助成はもちろんだが、「子どもの居場所」をはじめとした日常的な関わりの中に、「お寺だからできること」をめざして、この4年間、計画・実施していく予定である。

寺院の回答

・少子化で集会開催の難しさを感じる。・春休みの児念開催は、児童参拝の機会が増え、ありがたい。

「祖父・祖母と代が替わってからお寺に行く」と言っている。・最近は個人情報保護の立場により、各種名簿がなくなった。そのため幼児・児童の名前・住所・電話などの情報がつかめず困っている。

若者が少ないのが現状だが、高齢の方の知恵から学ぶことが多くあると思うので、世代を越えた集いを多くしたい。それをお寺ですれば良いと思う。

ならないと思う。お寺に集まる以外に何かアクションを起こさないといけない。・門徒数はごくわずか、高齢者のみ。若者や子どもは少ないので、キッズサンガ活動はできない。

宗派の取り組み紹介

2020(令和2)年度の浄土真宗本願寺派「子ども・若者ご縁づくり」の取り組みを紹介します。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、オンラインを中心とした事業が行われています。

第3期思春期・若者支援コーディネーター養成研修会

「思春期・若者支援コーディネーター養成研修会」は、「念仏者の生き方」に学びながら、特に思春期・若者の生きづらさについて理解を深め、必要に応じて専門家へつなぐことのできる思春期・若者支援コーディネーターを養成する研修会。

前期・後期に分け2カ年度に亘り、今年度は主にオンライン会議(Zoom)で開催。2021年2月7日・8日に広島別院、2021年7月7日に本願寺伝道本部にてスクーリング(シンポジウム含む)が開催される予定。

岩室紳也氏(泌尿器科医)、松本俊彦氏(精神科医)が監修。生きづらさを抱える当事者側に立つ内容となっている。

現代版寺子屋「スクール・ナーランダ with JT-ONLINE」

「スクール・ナーランダ」は、これから社会に出ようとする10~20代の方を対象とし、仏教をはじめ科学や芸術、哲学など人類が積み重ねてきた叡智を各分野の最前線で活躍する講師から横断的に学び、双方向に対話をする事で、一人ひとりの心の軸を作るヒントが得られる場となることを目指す。

昨年度、佐賀教区で開催された「スクール・ナーランダ」に、日本たばこ産業株式会社(JT)社員の方が参加されたご縁で、大学生向けの研修会を開催したいとの提案があり、今年度、「スクール・ナーランダwith JT-ONLINE」として開催されることとなった。

テーマは、「冷たいお金の集中から温かいお金の廻りへ」。講師は、西部忠氏(進化経済学者)、廣渡清栄氏(日本たばこ産業株式会社代表取締役副社長)、成田智信(浄土真宗本願寺派僧侶)。

SNS講座

SNS(ソーシャル ネットワーキング サービス)を使って若者へお寺の情報を届け、若者とお寺の繋がりをつくるための新たな伝道のヒントとなることを目指して企画された。

対象者は、僧侶、坊守、寺族、子ども・若者ご縁づくり活動者。2020年10月27日・11月12日・12月2日、オンライン会議(Zoom)で開催。

山陰教区子ども・若者ご縁づくりマネージャーにご就任いただいている、武田正文師(邑智東組高善寺)が講師を務められた。

講義内容は、第1回が「SNSを始める~仏教は何を発信するのか?~」、第2回が「SNSで繋がる~仏教ファンを増やすには?~」、第3回が「SNSで広がる~仏教を心に届けるには?~」。

各回とも、定員を超える参加申込があり、SNSに対する寺院関係者の関心の高さがうかがわれる。

浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室 企画 SNS講座 参加者募集 定員 60名 参加費 無料

山陰教区子ども・若者ご縁づくり「しおり」について

山陰教区子ども・若者ご縁づくりの活動推進の一環として発行しました教化資料「しおりで学ぼう」が、各地で好評をいただいております。組の行事やご寺院でのご活用が多いですが、他教区の研修会で大量にお配りいただいた事例もあります。

しおりに印刷しているQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むことで、親子で仏事について学ぶことができる教材です。

1セット5枚入り100円で頒布しております。ご希望の方は、山陰教区教務所宛に郵送またはFAXにてお申し込みください。

※発送は運賃着払いといたします。(但し、200セット以上のお申込みの場合、送料は当方が負担いたします。)

しおりで学ぼう。 QRコードをスマートフォンで読み込むと、仏事の解説ページが開きます。

山陰教区子ども・若者ご縁づくりサポーター(キッズサンガサポーター)名簿

Table with 5 columns: No., 氏名, 組名, 所属寺, 組での役職. Rows include 衣笠千秋, 村上義弘, 藤谷亨生, etc.

Table with 5 columns: No., 氏名, 組名, 所属寺, 組での役職. Rows include 源彰弘, 吉川光城, 菅原憲香, etc.

Table with 5 columns: No., 氏名, 組名, 所属寺, 組での役職. Rows include 俵郁也, 澤田誠之, 服部法子, etc.

任期: 2020(令和2)年4月1日~2022(令和4)年3月31日

「キッズサンガ通信」の紙面を拡大してご覧いただけます。

https://kids-sangha.saninkyoku.net